

KOKUYO

平成26年12月期
〈1～12月〉

連結決算補足資料

平成27年2月13日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

財務経理部

お問い合わせ先 : 財務経理部長 小嶋 浩毅

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 当期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 株主還元	…… P. 9
5. 事業セグメントの損益状況	
5-1 ステーションナリー関連事業	…… P.10
5-2 ファニチャー関連事業	…… P.11
5-3 通販・小売関連事業	…… P.12
6. 27年12月期の見通し	
6-1 連結業績の見通しについて	…… P.13
6-2 連結業績の推移	…… P.14
6-3 セグメント別業績の推移	…… P.15
7. 主なトピックス	…… P.16

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、フォーレスト株式会社及びLmD株式会社の連結除外(※)による影響があったものの、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したことや海外事業が伸長したこと等により、前年同期比1.7%増の2,930億円となりました。

利益面では、販促活動の強化等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加やファニチャー関連事業の売上総利益率の改善により、営業利益は前年同期比18.2%増の75億円、経常利益は前年同期比16.5%増の96億円となりました。また、当期純利益は、特別損益(特別利益14億円、特別損失34億円)の計上や子会社の清算に伴う法人税等の減少等により、前年同期比5.4%増の50億円となりました。

(※)平成25年12月20日に当社の連結子会社であったオフィス用品の通販会社フォーレスト株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。また、平成26年9月1日に当社の連結子会社であった「ザ・コンランショップ」の運営会社LmD株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

(単位:百万円)

	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	288,083	293,054	+4,971	+1.7%
売上総利益 (率)	93,408 (32.4%)	96,450 (32.9%)	+3,042 (+0.5p)	+3.3%
販売費及び一般管理費 (率)	86,981 (30.2%)	88,851 (30.3%)	+1,870 (+0.1p)	+2.1%
営業利益 (率)	6,426 (2.2%)	7,598 (2.6%)	+1,172 (+0.4p)	+18.2%
経常利益 (率)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
当期純利益 (率)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

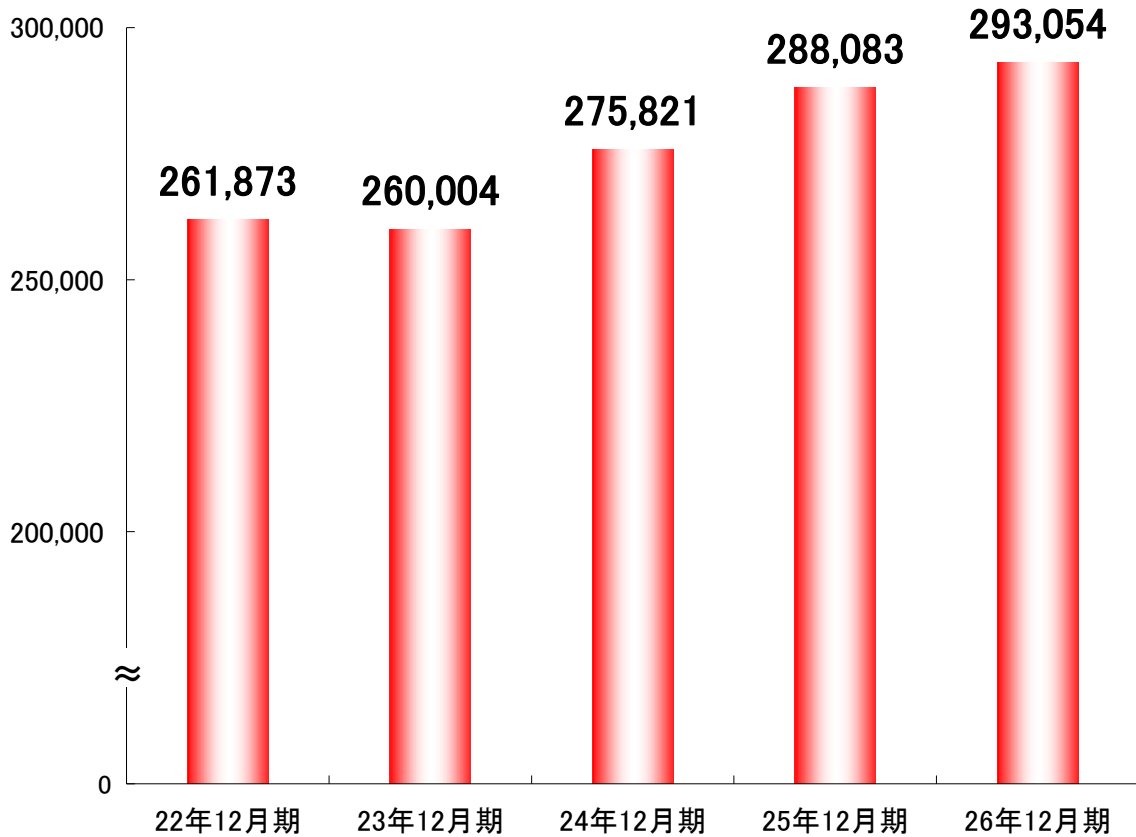
(注)連結子会社22社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、フォーレスト株式会社及びLmD株式会社の連結除外による影響があったものの、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したことや海外事業が伸長したこと等により、前年同期比1.7%増の2,930億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

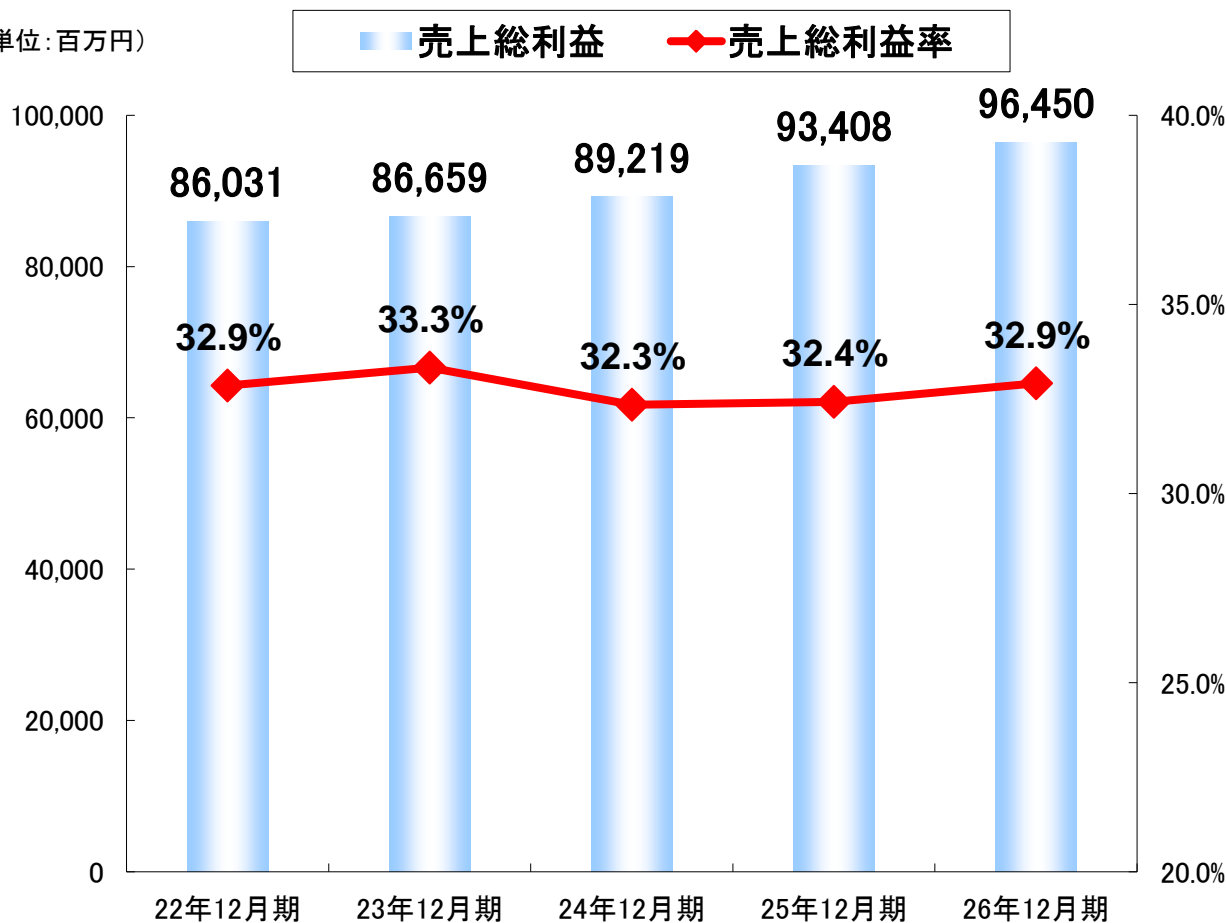
	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	261,873	260,004	275,821	288,083	293,054	+4,971	+1.7%
売上総利益 (率)	86,031 (32.9%)	86,659 (33.3%)	89,219 (32.3%)	93,408 (32.4%)	96,450 (32.9%)	+3,042 (+0.5p)	+3.3%
販売費及び一般管理費 (率)	82,748 (31.6%)	82,587 (31.8%)	84,366 (30.6%)	86,981 (30.2%)	88,851 (30.3%)	+1,870 (+0.1p)	+2.1%
営業利益 (率)	3,282 (1.3%)	4,072 (1.6%)	4,852 (1.8%)	6,426 (2.2%)	7,598 (2.6%)	+1,172 (+0.4p)	+18.2%
経常利益 (率)	3,324 (1.3%)	4,098 (1.6%)	6,142 (2.2%)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
当期純利益 (率)	815 (0.3%)	△5,460 (△2.1%)	2,428 (0.9%)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

1. 損益計算書の状況

◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収による総利益額の増加やファニチャー関連事業の売上総利益率の改善により、前年同期比3.3%増の964億円となり、売上総利益率は32.9%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

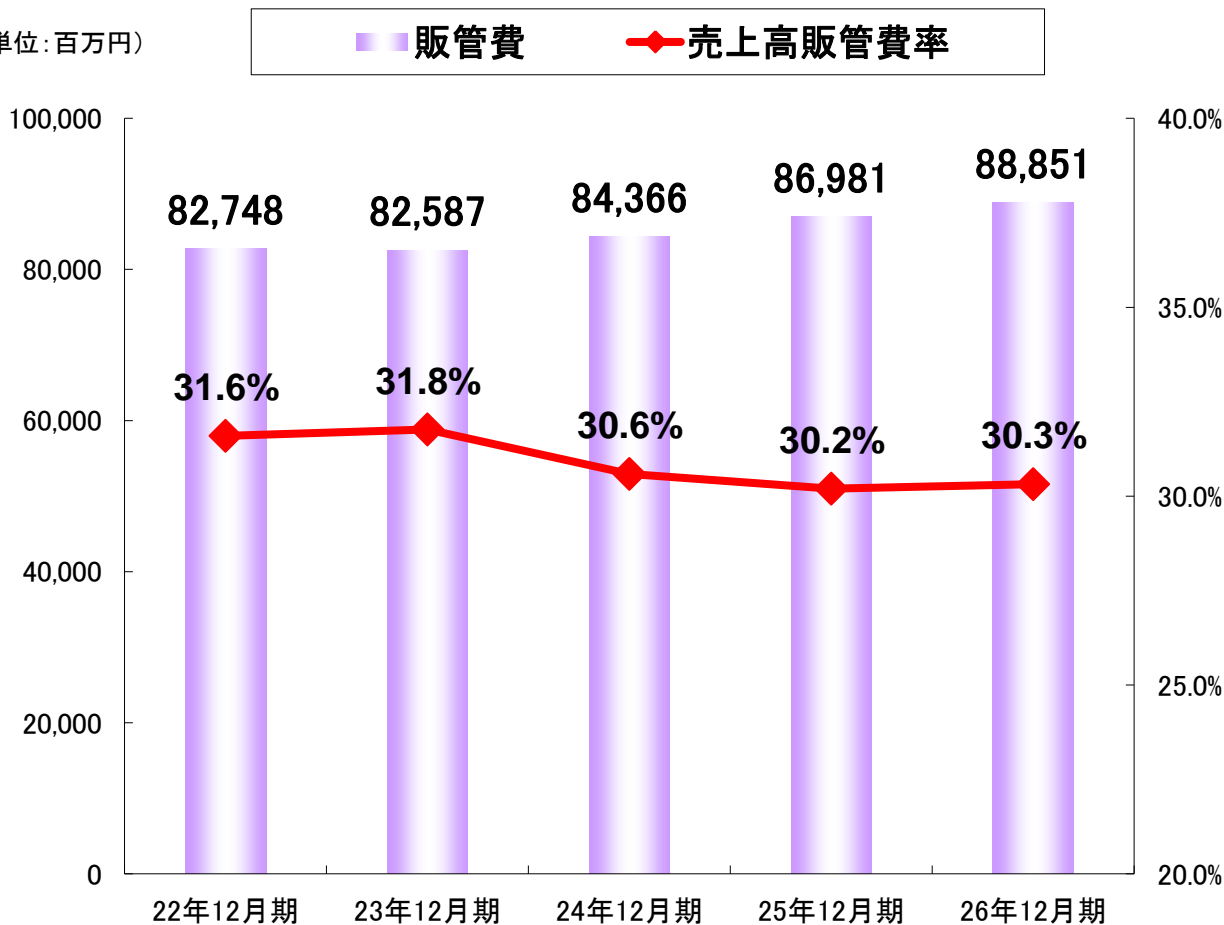
	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	261,873	260,004	275,821	288,083	293,054	+4,971	+1.7%
売上総利益 (率)	86,031 (32.9%)	86,659 (33.3%)	89,219 (32.3%)	93,408 (32.4%)	96,450 (32.9%)	+3,042 (+0.5p)	+3.3%
販売費及び一般管理費 (率)	82,748 (31.6%)	82,587 (31.8%)	84,366 (30.6%)	86,981 (30.2%)	88,851 (30.3%)	+1,870 (+0.1p)	+2.1%
営業利益 (率)	3,282 (1.3%)	4,072 (1.6%)	4,852 (1.8%)	6,426 (2.2%)	7,598 (2.6%)	+1,172 (+0.4p)	+18.2%
経常利益 (率)	3,324 (1.3%)	4,098 (1.6%)	6,142 (2.2%)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
当期純利益 (率)	815 (0.3%)	△5,460 (△2.1%)	2,428 (0.9%)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、販促活動の強化等により、前年同期比2.1%増の888億円となり、売上高販管費率は30.3%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	261,873	260,004	275,821	288,083	293,054	+4,971	+1.7%
売上総利益 (率)	86,031 (32.9%)	86,659 (33.3%)	89,219 (32.3%)	93,408 (32.4%)	96,450 (32.9%)	+3,042 (+0.5p)	+3.3%
販売費及び一般管理費 (率)	82,748 (31.6%)	82,587 (31.8%)	84,366 (30.6%)	86,981 (30.2%)	88,851 (30.3%)	+1,870 (+0.1p)	+2.1%
営業利益 (率)	3,282 (1.3%)	4,072 (1.6%)	4,852 (1.8%)	6,426 (2.2%)	7,598 (2.6%)	+1,172 (+0.4p)	+18.2%
経常利益 (率)	3,324 (1.3%)	4,098 (1.6%)	6,142 (2.2%)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
当期純利益 (率)	815 (0.3%)	△5,460 (△2.1%)	2,428 (0.9%)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

1. 損益計算書の状況

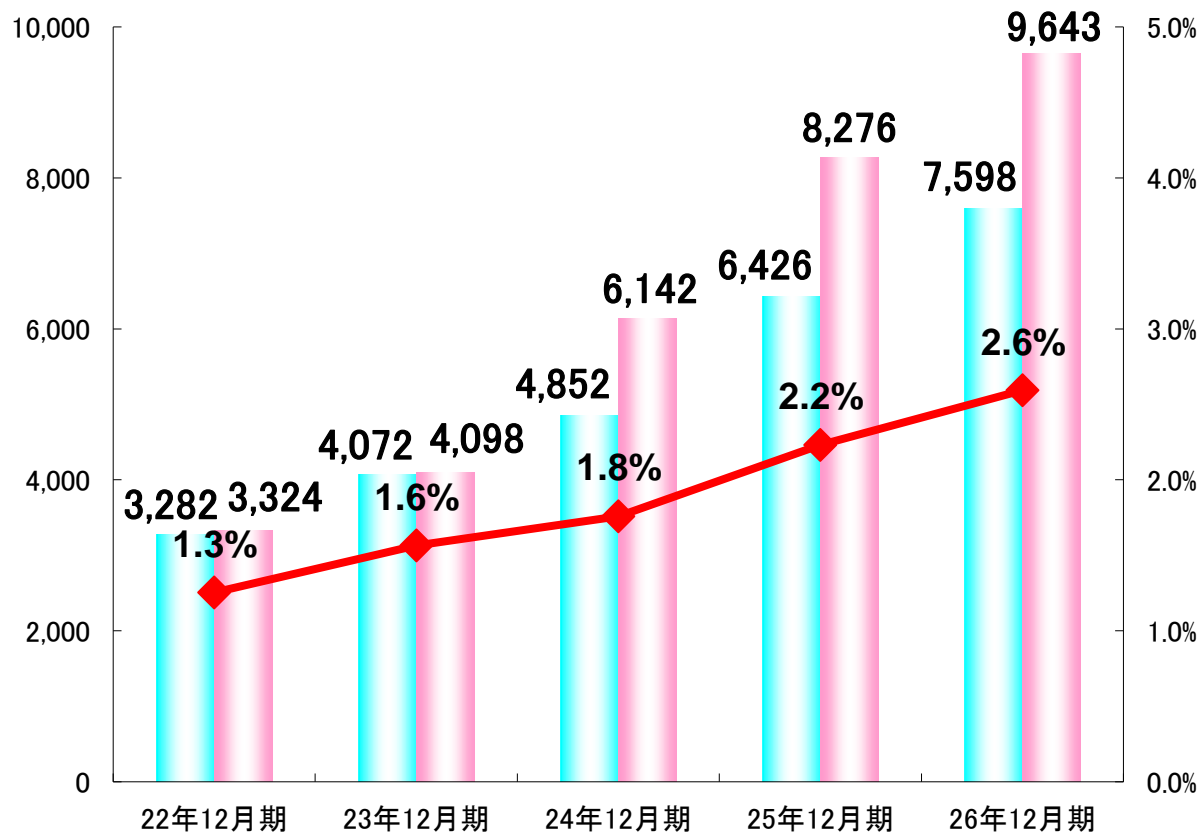
◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、販促活動の強化等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加やファニチャー関連事業の売上総利益率の改善により、前年同期比18.2%増の75億円となりました。

経常利益は、前年同期比16.5%増の96億円となりました。

(単位:百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	261,873	260,004	275,821	288,083	293,054	+4,971	+1.7%
売上総利益 (率)	86,031 (32.9%)	86,659 (33.3%)	89,219 (32.3%)	93,408 (32.4%)	96,450 (32.9%)	+3,042 (+0.5p)	+3.3%
販売費及び一般管理費 (率)	82,748 (31.6%)	82,587 (31.8%)	84,366 (30.6%)	86,981 (30.2%)	88,851 (30.3%)	+1,870 (+0.1p)	+2.1%
営業利益 (率)	3,282 (1.3%)	4,072 (1.6%)	4,852 (1.8%)	6,426 (2.2%)	7,598 (2.6%)	+1,172 (+0.4p)	+18.2%
経常利益 (率)	3,324 (1.3%)	4,098 (1.6%)	6,142 (2.2%)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
当期純利益 (率)	815 (0.3%)	△ 5,460 (△2.1%)	2,428 (0.9%)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

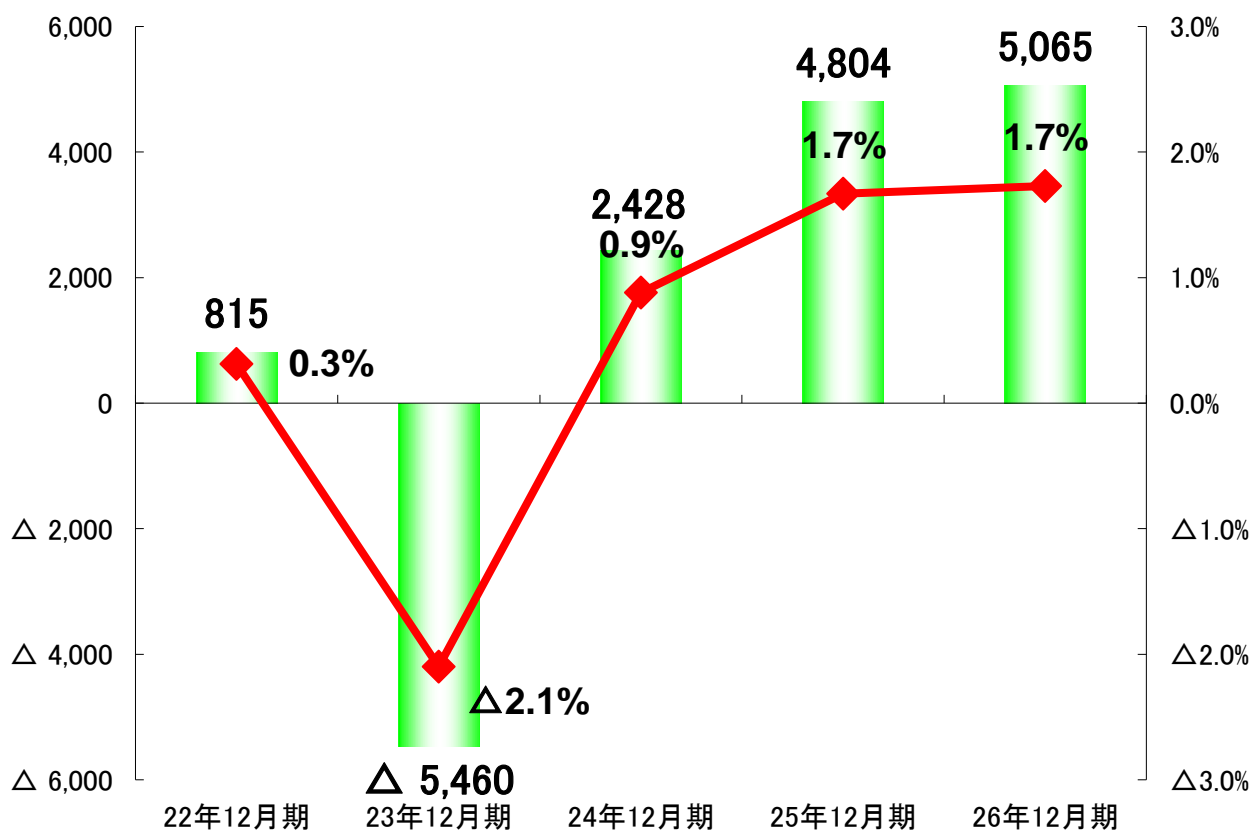
1. 損益計算書の状況

◆1-6 当期純利益

当期純利益は、特別損益(特別利益14億円、特別損失34億円)の計上や子会社の清算に伴う法人税等の減少等により、前年同期比5.4%増の50億円となりました。

(単位:百万円)

■ 当期純利益 ◆ 売上高当期純利益率



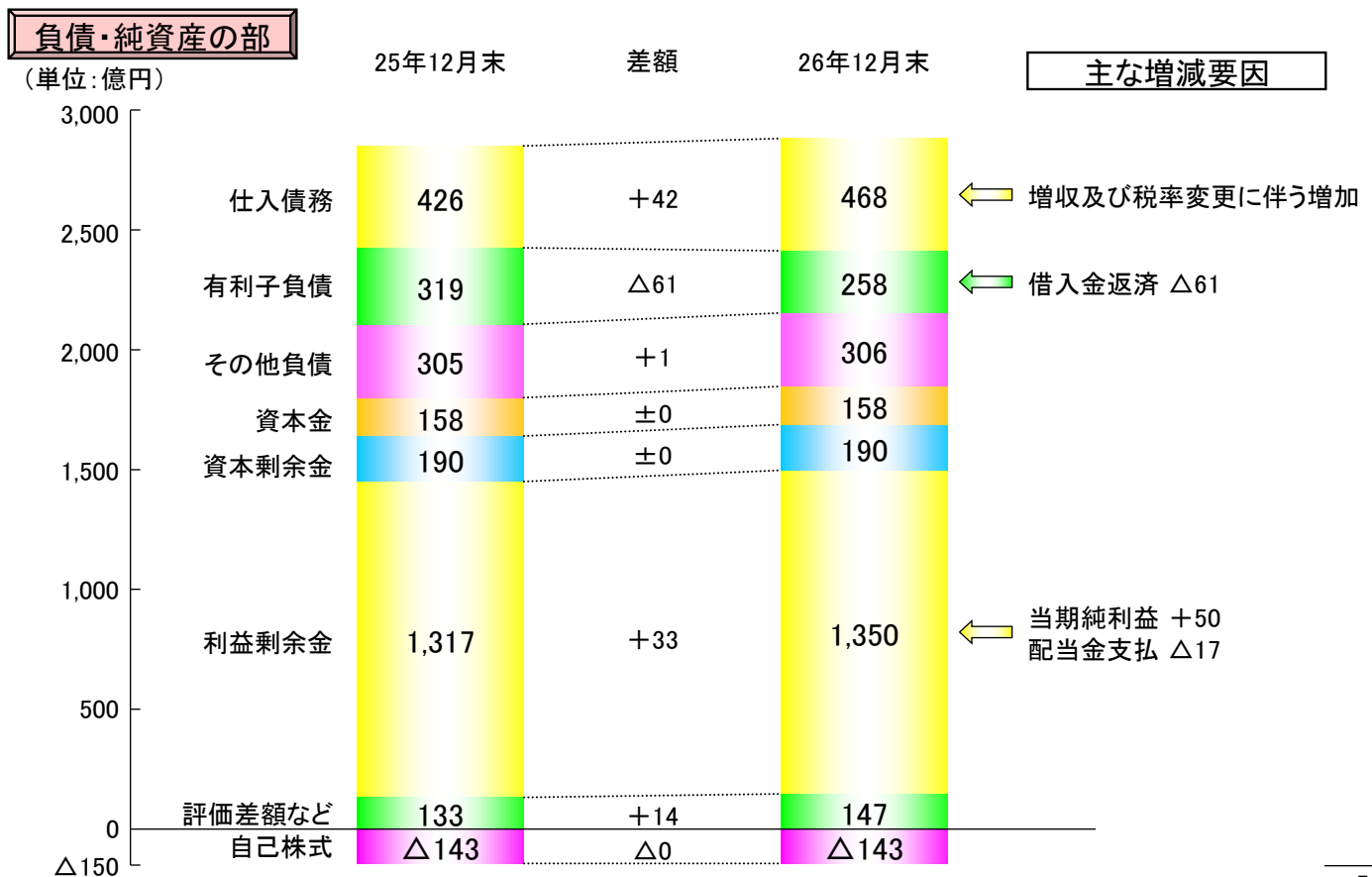
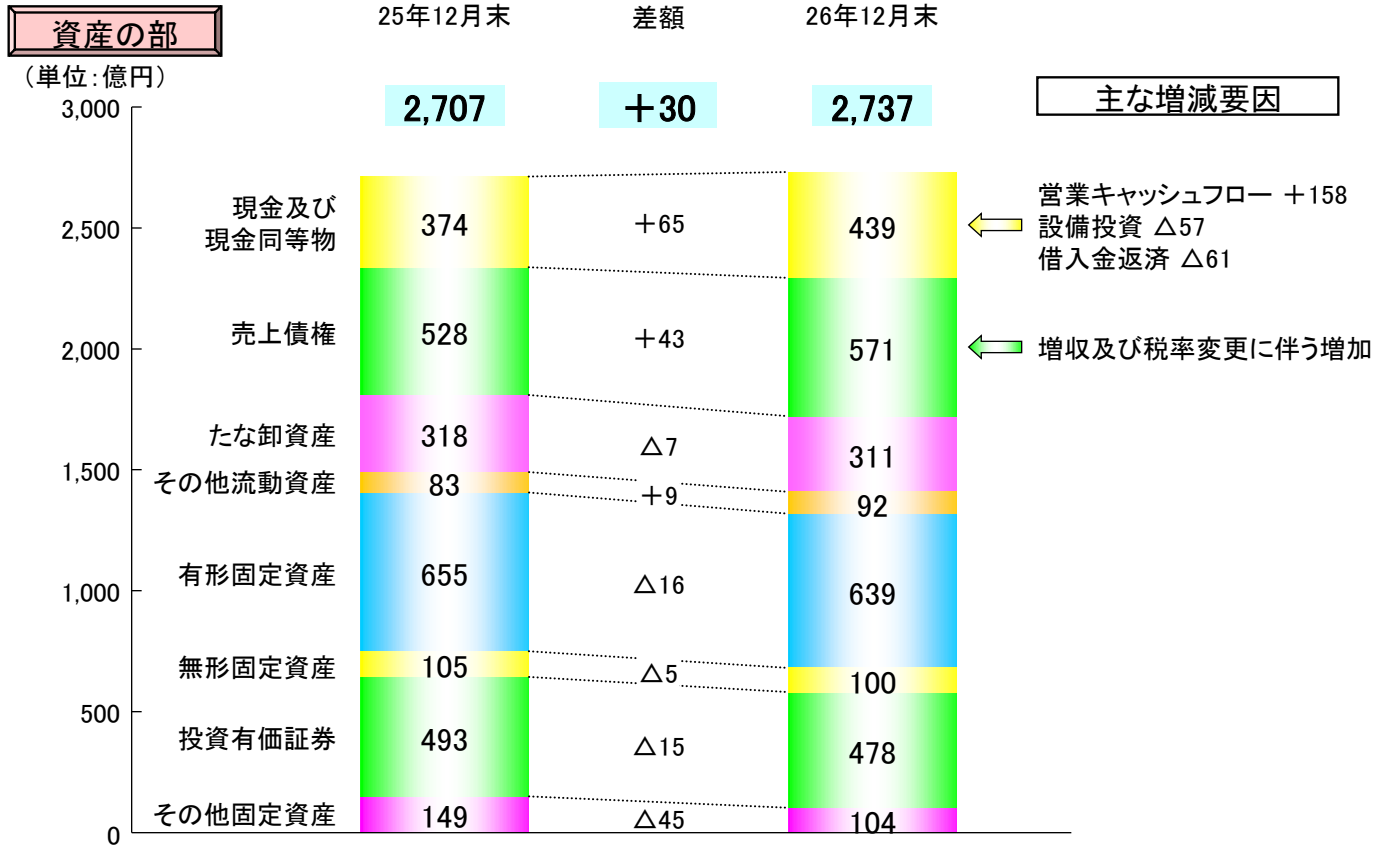
(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	3,324 (1.3%)	4,098 (1.6%)	6,142 (2.2%)	8,276 (2.9%)	9,643 (3.3%)	+1,367 (+0.4p)	+16.5%
特別損益	Δ462	Δ7,888	Δ880	Δ455	Δ2,015	Δ1,560	—
特別利益	+1,188	+1,187	+2,063	+1,380	+1,408	+28	+2.0%
特別損失	Δ1,650	Δ9,075	Δ2,943	Δ1,835	Δ3,423	Δ1,588	—
税金等調整前当期純利益 (率)	2,861 (1.1%)	Δ3,789 (Δ1.5%)	5,262 (1.9%)	7,821 (2.7%)	7,628 (2.6%)	Δ193 (Δ0.1p)	Δ2.5%
法人税等	2,046	1,671	2,834	3,017	2,563	Δ454	Δ15.0%
当期純利益 (率)	815 (0.3%)	Δ5,460 (Δ2.1%)	2,428 (0.9%)	4,804 (1.7%)	5,065 (1.7%)	+261 (+0.1p)	+5.4%

2. 貸借対照表の状況

債権債務の増加や有利子負債の減少等により、総資産は2,737億円となりました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは158億円、投資キャッシュフローは△7億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は151億円となりました。
また、財務キャッシュフローは△91億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から65億円増加し、439億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

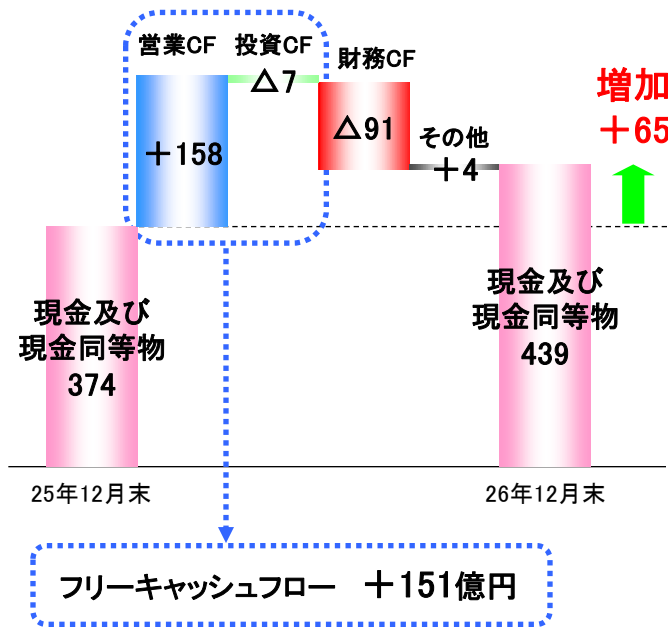
<設備投資>

設備投資は、57億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 26年12月期<1～12月>

(単位:億円)



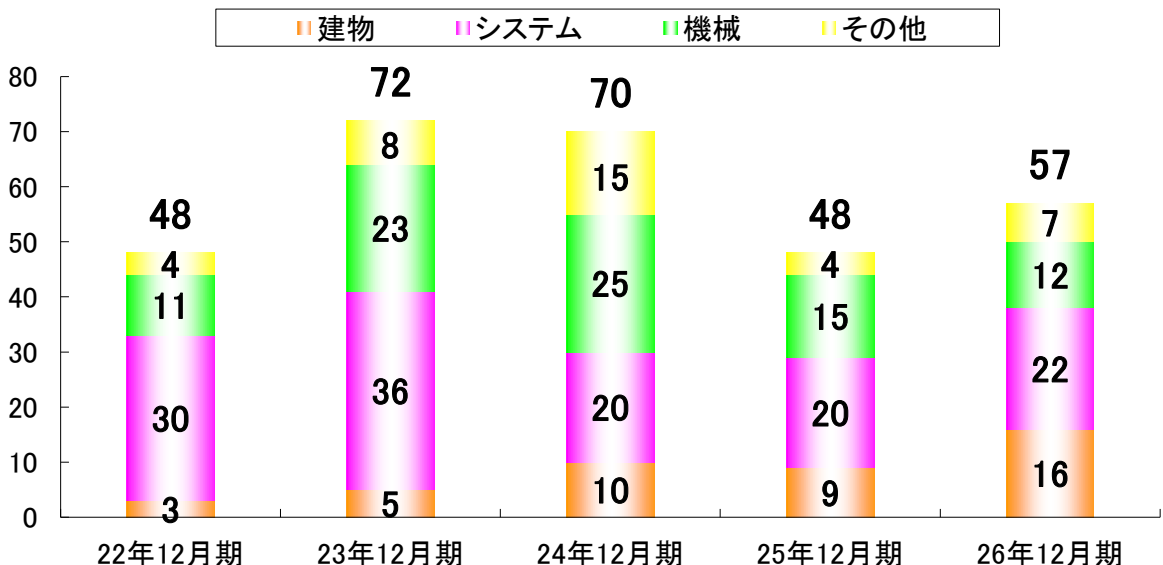
□ キャッシュ・フロー計算書 26年12月期<1～12月>

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	+158
税金等調整前当期純利益	+76
減価償却費	+71
減損損失	+24
たな卸資産の増減	+8
法人税等の支払	△37
その他	+16
◆投資キャッシュフロー	△7
投資有価証券の売却	+41
設備投資	△57
その他	+8
◆財務キャッシュフロー	△91
借入金が増減	△61
配当金の支払	△17
その他	△11

□ 設備投資の推移

(単位:億円)



■ 配当について

・ 1株当たり配当金

通期: 15円 (中間期末 7円50銭、期末 7円50銭<予定>)

・ 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分に関する基本方針は、更なる株主重視の経営を目指し、従来の安定配当に加えて連結業績を考慮し、配当性向20%以上を目処とした配当政策を実施してまいります。

当期におきましては、この方針を念頭におき、1株当たり15円(中間期末7円50銭、期末7円50銭)を予定しております。また、次期の1株当たり配当金は15円(中間期末7円50銭、期末7円50銭)を予定しております。

内部留保資金につきましては、企業価値の向上に向けた今後の成長戦略への投資に活用してまいります。

5. 事業セグメントの損益状況

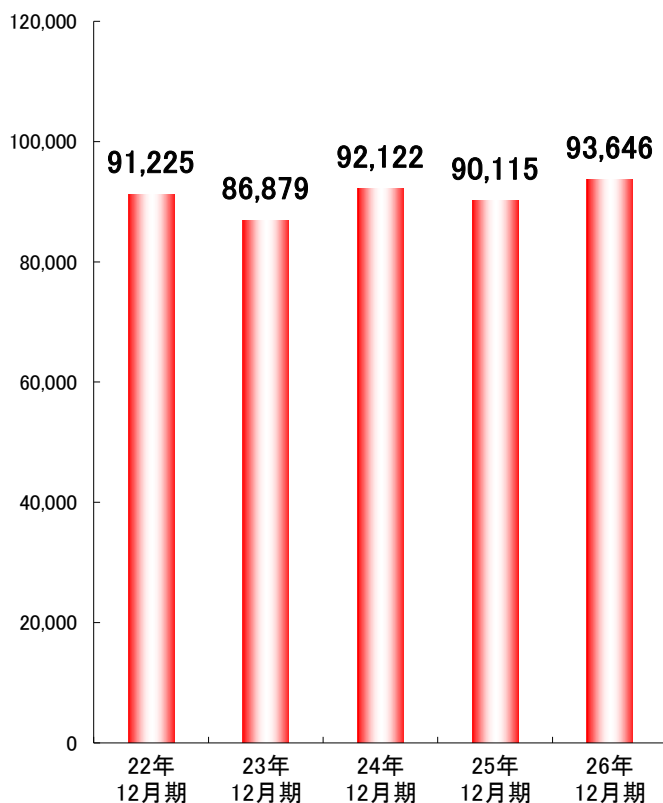
◆5-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、国内、海外事業とも伸長し、前年同期比3.9%増の936億円となりました。

営業利益は、国内事業における販売チャネルや商品の売上構成比率の変化、原材料価格の高騰等による売上総利益の減少、売上拡大に向けた商品開発や流通施策による費用の増加等により、前年同期比25.1%減の44億円となりました。

売上高

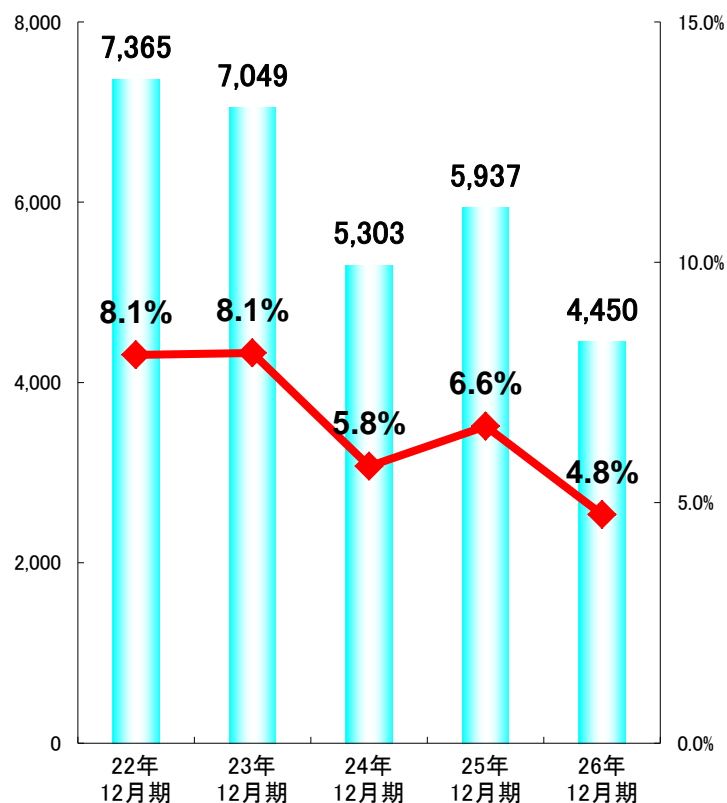
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	91,225	86,879	92,122	90,115	93,646	+3,531	+3.9%
営業利益 (率)	7,365 (8.1%)	7,049 (8.1%)	5,303 (5.8%)	5,937 (6.6%)	4,450 (4.8%)	△1,487 (△1.8p)	△25.1%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 事業セグメントの損益状況

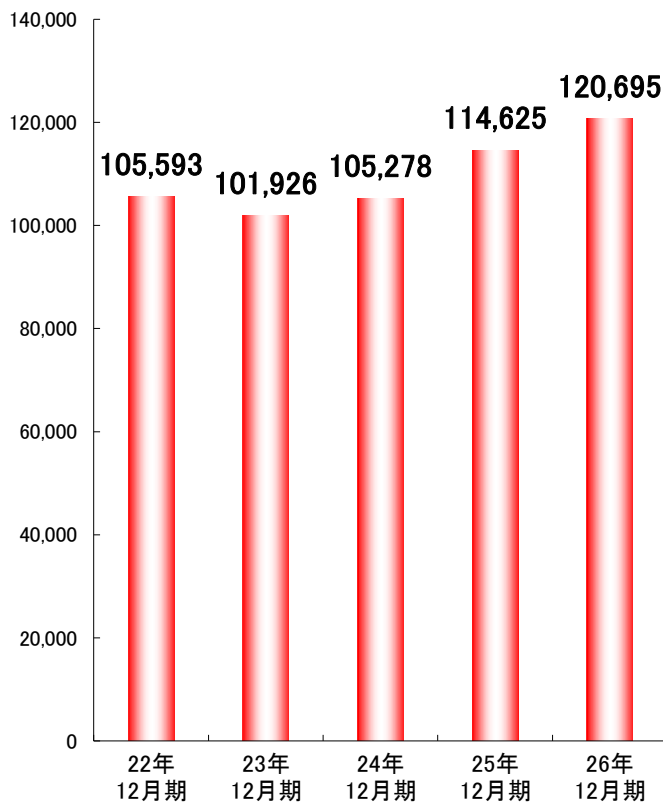
◆5-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業では顧客企業への提案活動が堅調に推移し、海外事業も伸長したことから、前年同期比5.3%増の1,206億円となりました。

営業利益は、増収及び国内直販チャンネルの売上総利益率の改善等により、前年同期比160.9%増の41億円となりました。

売上高

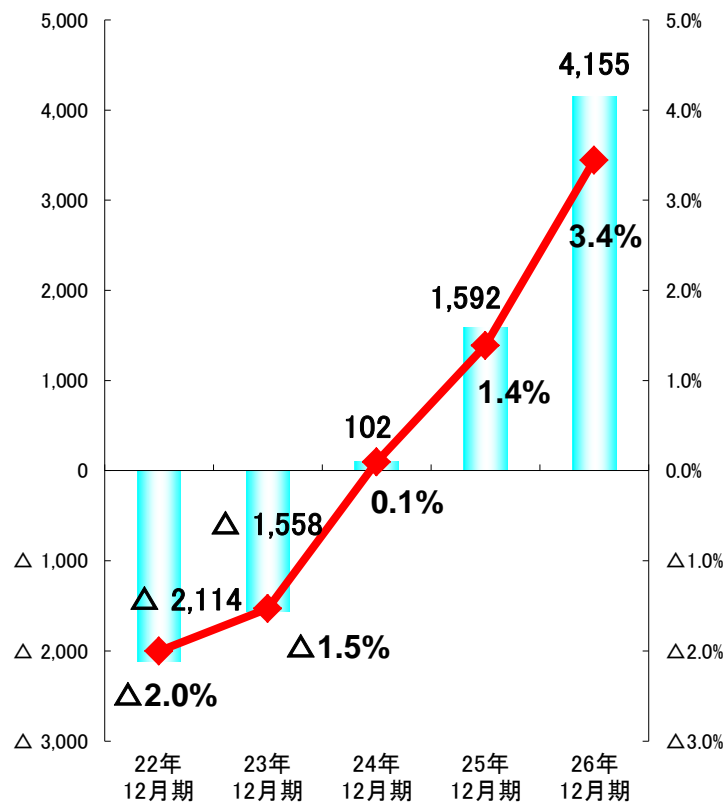
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	105,593	101,926	105,278	114,625	120,695	+6,070	+5.3%
営業利益 (率)	△ 2,114 (△2.0%)	△ 1,558 (△1.5%)	102 (0.1%)	1,592 (1.4%)	4,155 (3.4%)	+2,563 (+2.1p)	+160.9%

※24年12月期より「ステーションary関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 事業セグメントの損益状況

◆5-3 通販・小売関連事業

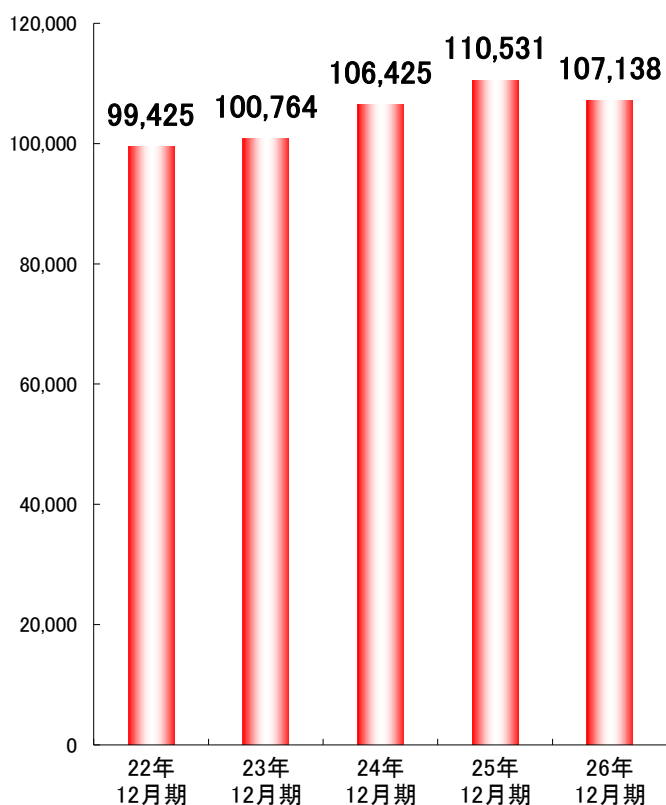
売上高は、カウネット及びアクタスは増収となったものの、フォーレスト株式会社及びLmD株式会社の連結除外(※)の影響により、前年同期比3.1%減の1,071億円となりました。

営業利益は、カウネットとアクタスの増益により、前年同期比33.5%増の20億円となりました。

(※)平成25年12月20日に当社の連結子会社であったオフィス用品の通販会社フォーレスト株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。また、平成26年9月1日に当社の連結子会社であった「ザ・コンランショップ」の運営会社LmD株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

売上高

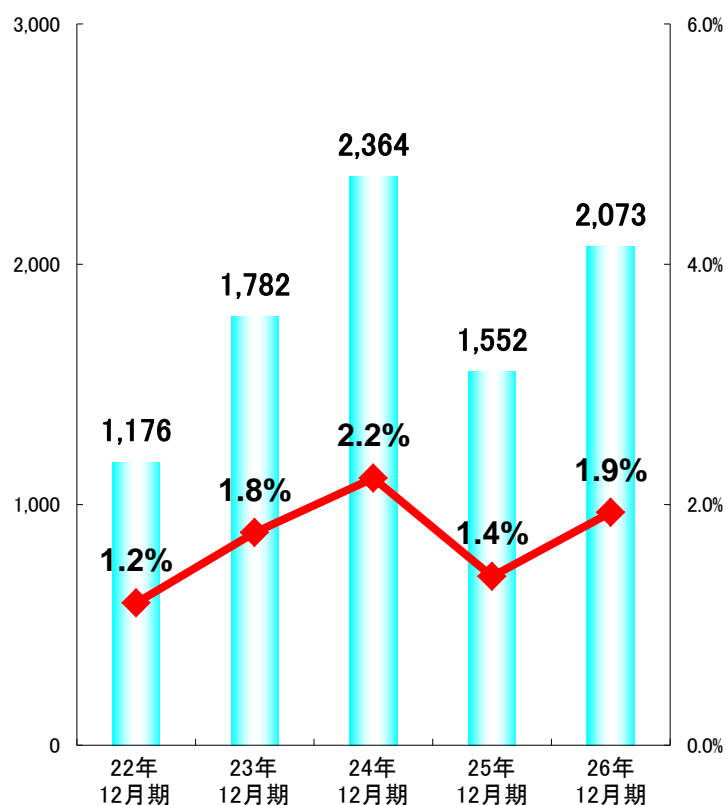
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期	23年12月期	24年12月期	25年12月期	26年12月期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	99,425	100,764	106,425	110,531	107,138	△3,393	△3.1%
営業利益 (率)	1,176 (1.2%)	1,782 (1.8%)	2,364 (2.2%)	1,552 (1.4%)	2,073 (1.9%)	+521 (+0.5p)	+33.5%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

6. 27年12月期の見通し

◆6-1 連結業績の見通しについて

次期の見通しに関しましては、売上高は3,000億円、営業利益は83億円、経常利益は為替差益が減少することから93億円、当期純利益は53億円を見込んでおります。

第2四半期累計

(単位: 百万円)

	26年12月期 第2四半期累計 実績 (6ヶ月)	27年12月期 第2四半期累計 予想 (6ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売上高	156,243	158,000	+1,757		+1.1%
ステーションナリー	51,106	54,000	+2,894		+5.7%
ファニチャー	65,398	67,000	+1,602		+2.4%
通販・小売	54,462	54,000	△462		△0.8%
調整額	△14,724	△17,000	△2,276		-
営業利益(率)	7,396 (4.7%)	7,500 (4.7%)	+104	+0.0p	+1.4%
ステーションナリー(率)	3,649 (7.1%)	3,200 (5.9%)	△449	△1.2p	△12.3%
ファニチャー(率)	3,790 (5.8%)	4,600 (6.9%)	+810	+1.1p	+21.4%
通販・小売(率)	1,361 (2.5%)	1,500 (2.8%)	+139	+0.3p	+10.2%
調整額	△1,404	△1,800	△396		-
経常利益(率)	7,935 (5.1%)	8,100 (5.1%)	+165	+0.0p	+2.1%
四半期純利益(率)	3,995 (2.6%)	4,700 (3.0%)	+705	+0.4p	+17.6%

通期

(単位: 百万円)

	26年12月期 通期 実績 (12ヶ月)	27年12月期 通期 予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売上高	293,054	300,000	+6,946		+2.4%
ステーションナリー	93,646	98,000	+4,354		+4.6%
ファニチャー	120,695	123,000	+2,305		+1.9%
通販・小売	107,138	108,000	+862		+0.8%
調整額	△28,426	△29,000	△574		-
営業利益(率)	7,598 (2.6%)	8,350 (2.8%)	+752	+0.2p	+9.9%
ステーションナリー(率)	4,450 (4.8%)	4,200 (4.3%)	△250	△0.5p	△5.6%
ファニチャー(率)	4,155 (3.4%)	5,400 (4.4%)	+1,245	+0.9p	+30.0%
通販・小売(率)	2,073 (1.9%)	2,300 (2.1%)	+227	+0.2p	+10.9%
調整額	△3,080	△3,550	△470		-
経常利益(率)	9,643 (3.3%)	9,350 (3.1%)	△293	△0.2p	△3.0%
当期純利益(率)	5,065 (1.7%)	5,350 (1.8%)	+285	+0.1p	+5.6%

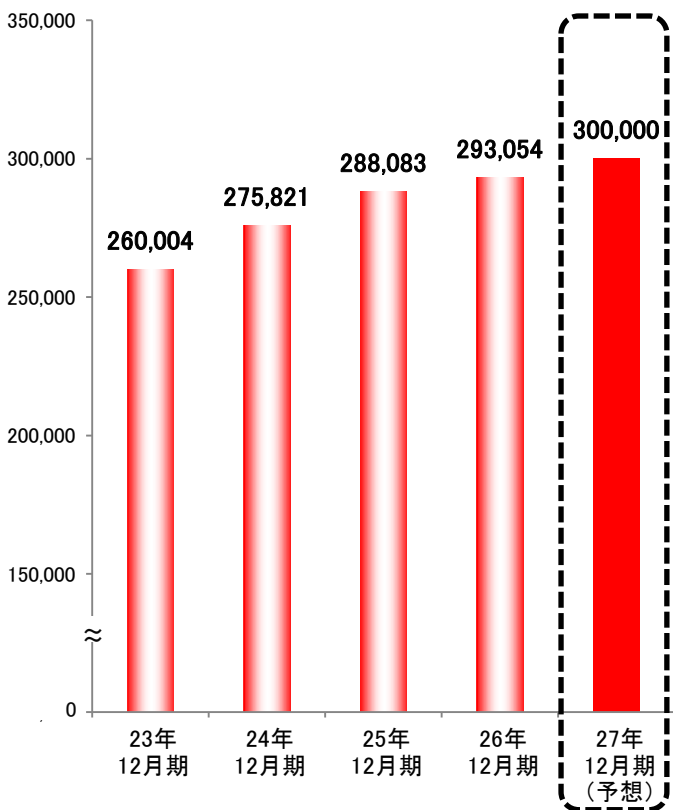
※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 27年12月期の見通し (ご参考)

◆6-2 連結業績の推移

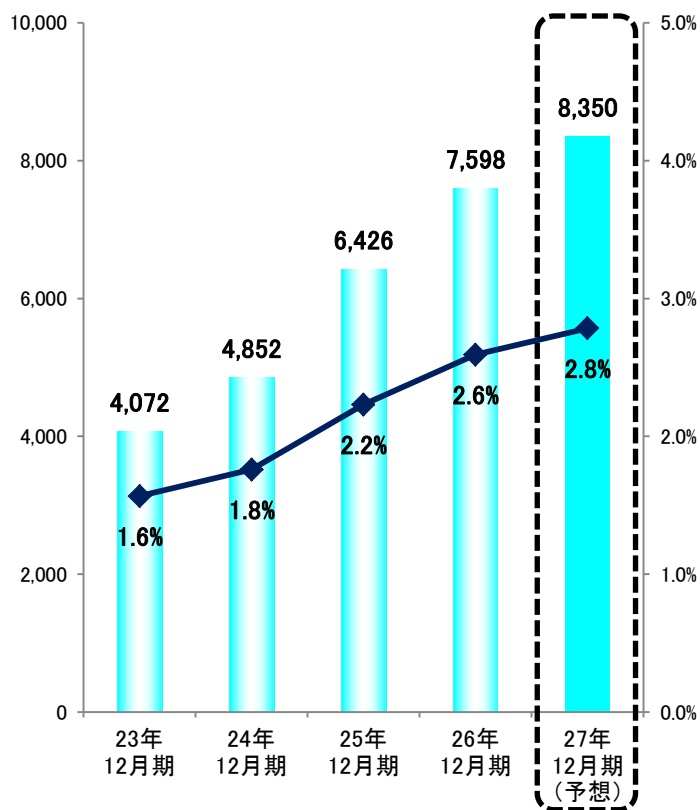
■売上高

(単位:百万円)



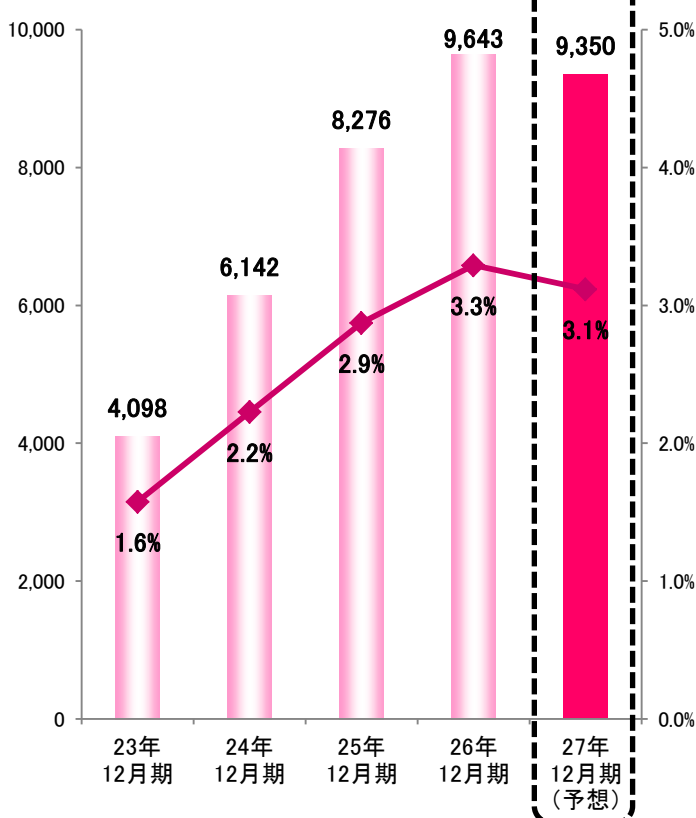
■営業利益 売上高営業利益率

(単位:百万円)



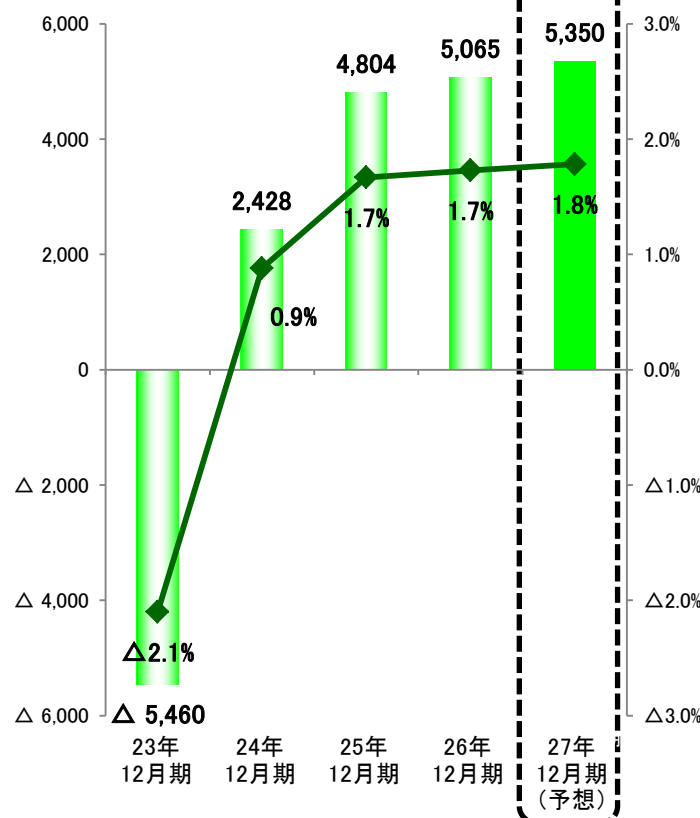
■経常利益 売上高経常利益率

(単位:百万円)



■当期純利益 売上高当期純利益率

(単位:百万円)



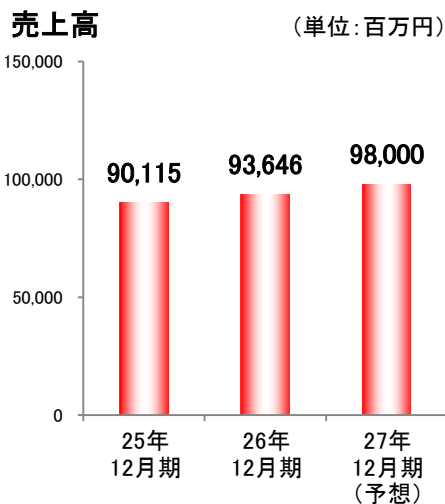
6. 27年12月期の見通し (ご参考)

◆6-3 セグメント別業績の推移

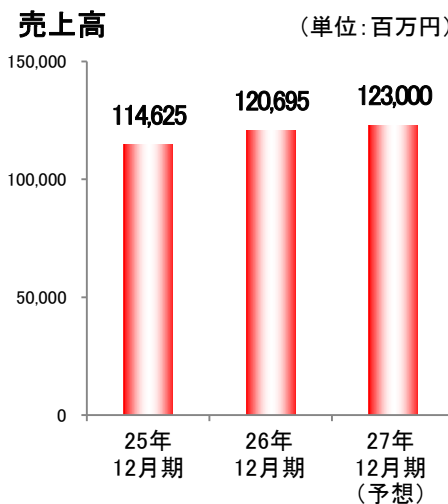
(単位:百万円)

	25年12月期	26年12月期	27年12月期 (予想)	前年差額 (前年率差)	増減率
ステーションナリー					
売上高	90,115	93,646	98,000	+4,354	+4.6%
営業利益 (率)	5,937 (6.6%)	4,450 (4.8%)	4,200 (4.3%)	△250 (△0.5p)	△5.6%
ファニチャー					
売上高	114,625	120,695	123,000	+2,305	+1.9%
営業利益 (率)	1,592 (1.4%)	4,155 (3.4%)	5,400 (4.4%)	+1,245 (+0.9p)	+30.0%
通販・小売					
売上高	110,531	107,138	108,000	+862	+0.8%
営業利益 (率)	1,552 (1.4%)	2,073 (1.9%)	2,300 (2.1%)	+227 (+0.2p)	+10.9%

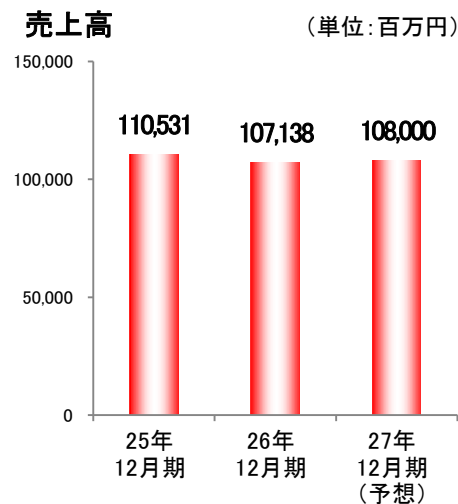
<ステーションナリー関連事業>



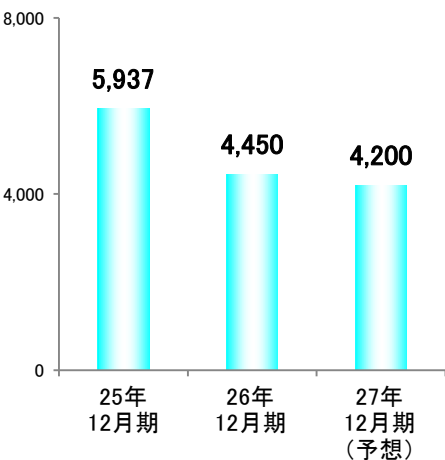
<ファニチャー関連事業>



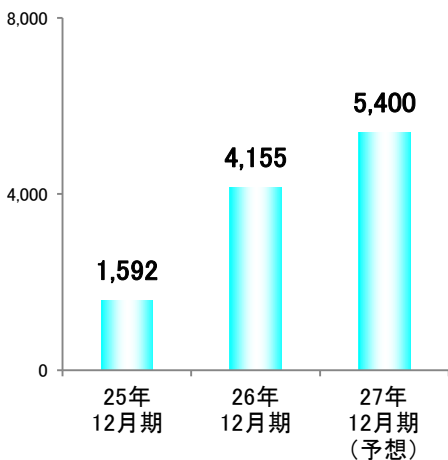
<通販・小売関連事業>



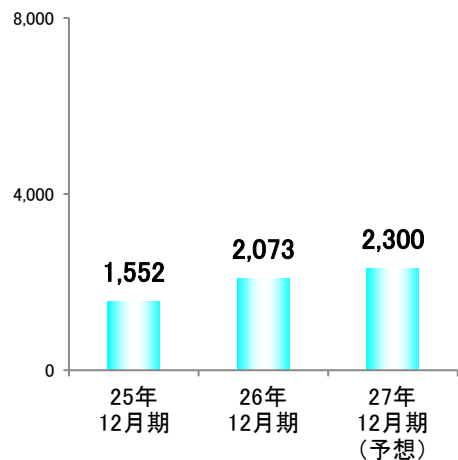
営業利益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



「2015 コクヨ新製品フェア」を開催 ～テーマは『Answer きっと見つかる。あなたに最適なオフィス。』～

コクヨ株式会社は、平成26年12月9日・10日の2日間、東京ショールームにおいて、当社のファニチャー商材を中心にした新製品やリニューアルを実施した「品川ライブオフィス」を体感できる「2015コクヨ新製品フェア」を開催しました。

今回のフェアでは、昨年に引き続き、「Answer きっと見つかる。あなたに最適なオフィス。」をテーマに、オフィスを「創造するための空間」と捉えて、オフィスにおける課題を解決する「答え」を新製品や当社が考える空間価値の考え方で表現し、お客様にとって価値のある数々の「Answer」を提案しました。

あわせて、リニューアルを実施した「品川ライブオフィス」では、「社員が実践の場で挑戦を続け、成長するオフィス」をテーマに、航海に繰り出す船に見立てた「SHIPP(シップ) Shinagawa Practical Place」をオフィスコンセプトとし、お客様が抱えるオフィスにおける課題解決のソリューションをご用意し、お客様にとって新しい価値となる「Answer」を提案しました。



「品川ライブオフィス」のイメージ



新製品一例

(左から) オフィスチェア「Bezel(ベゼル)」、PCカート「ナーシングカート FREE+(フリープラス)」、
モジュール型ハイバックソファ「brackets(ブラケッツ)」

～発売40周年を迎えるキャンパスノートから～ オリジナルLINEスタンプが付いたパックノートを限定発売

コクヨS&T株式会社は、コクヨオリジナルのLINEスタンプが付いたパックノートを数量限定で発売しました。

累計26億冊以上を販売しているキャンパスノートは、平成27年に発売40周年を迎えます。

当社では平成27年を「HAPPY Campus YEAR!」と定め、お客様がハッピーな気持ちになることをお手伝いできる商品の発売や、プロモーションを行っていきます。

今回「HAPPY Campus YEAR!」第一弾として、学生ユーザーの間で人気が高いキャンパスノートの5色パックに、スマートフォンアプリ「LINE」で使えるコクヨオリジナルの「LINEキャラクター」スタンプが付いた「LINEスタンプ付きパックノート」を発売しました。

コクヨオリジナルの「LINEスタンプ」は、対象商品の帯リーフレット裏面に記載されたシリアルナンバーをWeb上のキャンペーンページで入力することでもちろんダウンロードできます。

また、「LINEスタンプ付きパックノート」は、LINEスタンプが付いているだけでなく、表紙に限定意匠柄を採用した商品や、限定色を採用した商品、特別仕様のノートが1冊おまけに付いている5+1冊パックの商品など、お客様がハッピーな気持ちになることをお手伝いできるラインアップとなっています。



「LINEスタンプ付きキャンパスパックノート」パックイメージ



「LINEキャラクター」
コクヨオリジナルスタンプ例

<ご参考>キャンパスノートについて

「キャンパスノート」シリーズは、昭和50(1975)年の発売以来お客様よりご愛顧いただき、1年間で1億冊以上、累計26億冊を販売する業界No.1のノートブランドです(国内販売冊数)。

ノートを構成するのは「表紙」「中紙」「背クロス」とわずか3つの部品ですが、当社はその「とじ方」や、「材料品質」「罫線」「サイズ」「デザイン」「価格」という6つの価値要素についてこだわり抜いてきました。

発売40周年を迎える平成27(2015)年を「HAPPY Campus YEAR!」と定め、お客様がハッピーな気持ちになることをお手伝いできる商品の発売や、プロモーションを行っていきます。



「HAPPY Campus YEAR!」
キャンペーンロゴ

7. 主なトピックス

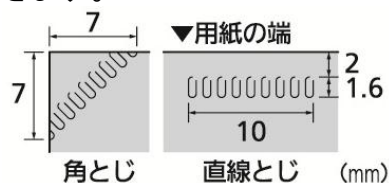
～ハリナックスに新シリーズ、穴を開けずに紙をとじる～ 「針なしステープラー〈ハリナックスプレス〉」を発売

コクヨS&T株式会社は、金属歯で紙を圧着するプレスロック式を採用し、穴を開けずに5枚の紙がとじられる「針なしステープラー〈ハリナックスプレス〉」を発売しました。

「ハリナックスプレス」は、「環境」「安全」「効率」という従来の「ハリナックスシリーズ」のコンセプトはそのままに、新たにプレスロック式を採用し、金属歯で紙を非常に強い力で圧着することで穴を開けずにコピー用紙5枚程度をしっかりときれいにとじることができます。

また、とじ部は厚くならないので重ねた際にもかさばりません。さらに、外したいときはとじ部を平らにならすだけで、簡単に外せます。

コンパクトな形状で、置いて使うことも、手に持って使うこともできます。



とじ部のイメージ図



「針なしステープラー〈ハリナックスプレス〉」

～東北エリア初出店～ 「アクタス・仙台店」をオープン

株式会社アクタスは、東北初出店となる「アクタス・仙台店」を平成26年10月10日に仙台市泉区にオープンしました。

アクタス・仙台店は、1,581㎡のスペースに「Poliform」や「PORADA」などヨーロッパのトップブランドの家具やオリジナル家具、インテリア雑貨、ロングライフデザインの子ども家具を充実させました。

店内中央のメインコーナーには、「エシカルで丁寧な暮らし」を提案するアクタスのコンセプトブランド「SLOWHOUSE」、アメリカ・ポートランド発の季刊誌「KINFOLK」が手掛けるジェネラル・ライフスタイルブランド「Ouur」のインショップを展開しています。

上質なものを使いつなぐことから生まれる本質的な豊かさを実現するために、お客様のライフスタイル全般をサポートし、暮らしを彩るさまざまな時と場を提供します。

